Creative Smart Recorder

Creative Smart Recorder (以下 Smart Recorder)は録音に最適なソフトウェアで、録音から保存までのプロセスをステップ ごとに設定するウィザード形式のメニューを備え、初めての方でも気軽に録音できます。入力音を検知して自動的に録音を 開始するシンクロ録音機能やスケジュール録音機能、複数のトラックにまたがったファイルの無音部を検知してトラックを分 割するトラック分割機能など、音楽録音に便利な様々な機能を搭載しています。また既にお持ちの音楽ファイルのノイズ除 去などの処理を行うことも可能です。

本ガイドでは、Smart Recorderの機能のうち、画面の指示に従って進むことでステップ・バイ・ステップで簡単に録音が行える「録音ウィザード」メニューを使用した録音と、録音したファイルのノイズ除去や分割方法について解説します。

目次

Smart Recorder で録音する	2
[録音ウィザード] パネル	2
ステップ 1/7: 録音レベルの調整	2
ステップ 2/7: 録音時間の指定	3
ステップ 3/7: トラックの録音	4
ステップ 4/7: トラック分割 / クリーンアップの指定	4
ステップ 5/7:トラックの自動分割	5
ステップ 6/7: トラックのクリーンアップ	6
ステップ 7/7: トラックの保存	7

Smart Recorder で録音する

▶ Smart Recorder を起動する

- 1. Windows タスクバー上の [**スタート**] > [**すべてのプログラム / プログラム**] > [**Creative**] > [**Sound Blaster 製品名**] > [**ス** マートレコーダー] の順にクリックして Smart Recorder を起動します。
- Smart Recorder は、録音方法に合わせて画面上部のタスクバーに4つのパネルを装備しています。本ガイドでは、左から2番目の[録音ウィザード]パネルのステップに従っての録音方法を解説します。

	🞜 አマート レコーダー	スマート レコータ ^ッ ー			
タスクバー ――	《 REC 逐次錄音	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	() スケジュール録音	ক্তি বর্ণ ৮৫-র্টখ্যস্য	
	ステップ 1 / 7: 録音	しベルの調整			

[録音ウィザード] パネル

[録音ウィザード]パネルでは、ステップごとに用意された画面に従って録音からファイルの保存までを行うことができる、非常に便利な機能です。またこのウィザードでは、カセットテープ1本やレコード1枚を丸々録音して、自動的に分割、およびヒスノイズなどを除去することができますので、お持ちのアナログライブラリーの録音には最適です。

▶ [録音ウィザード]パネルを使用して録音する

1. Smart Recorder 画面上部のタスクバーから[録音ウィザード]パネルをクリックします。

ステップ 1/7:録音レベルの調整

このステップでは、録音ソースの設定と録音レベルの調整を行います。



- [録音ソース] リストから、録音するソースとして再生機器を接続した Sound Blaster の入力端子を選択します。
 Sound Blaster Digital Music Premium HD の場合: "マイク"、"ライン入力"、"フォノ入力"、"SPDIF 入力"、"再生 リダイレクト" (PC内のサウンドと入力音を同時に録音する場合)のいずれか
 Sound Blaster Easy Record の場合: "ライン"
- 3. [録音レベルスライダー]を動かして、一番右側までマウスでドラッグし、録音レベルを最大に調節します。もし録音レベルを最大にしても、十分な音量が得られない場合、再生機器側の出力レベルを調整してください。
- 4. [ピークメーター有効]ボタンをクリックしてチェックを入れることで、ピークメーターで再生中の録音ソースの音量レベル を確認することが出来ます。

- 5. 録音するソースの一番音量の大きい個所を再生して、ピークメーターで確認しながら[録音レベルスライダー]で録音レベ ルを調節します。[解析] ボタンをクリックすることで、ソースのレベルに応じて自動的に[録音レベルスライダー] が左右に 動きますので、適切な録音レベルになった時点で[解析終了] ボタンをクリックして解析を終了します。
- 6. 適切な録音レベルの解析が終了したら、[解析終了]ボタンをクリックします。
- 7. レベルの調整が完了したら**[次へ]** ボタンをクリックします。

ステップ 2/7: 録音時間の指定

このステップでは、録音時間と録音したデータの作業ファイルの保存場所を設定します。

	🛃 スマート レコーダー			?	
	《 REC 逐次錄音		(上) スクジュール録音	👘 र्रा ४३-२१४७७	
	ステップ 2 / 7: 録音	時間の指定			
	録音時間を指定します。この8 録音時間を指定したら「録音」	守間に達すると詠音を目動的に19 ドツを別ックして録音を開始して下	2止します。 さい。		
		時間分	秒		四方时间。
	録音	禄音時間: 3 → 8 可能時間: 3 時間 8 分	57 0		録音時間の 上限設定
自動録音の 設定		自動保育 無助]	
		禄音場所: C.¥Documents and Se きスペース: 4.52 GB	ttings¥¥My Recording:	参照	作業ファイルの 保存場所
			(く戻る)(翁	暗) (キャンセル)	
				CREATIVE A	

- 8. [録音時間]の各ボックスで録音する時間の上限を設定します。[録音可能時間]には、ハードディスクの空き容量に応じた時間が自動的に表示されますが、ソフトウェア上の仕様により、3時間以上の録音は行えません。従って最大でも3時間以内に設定してください。
- 9. [自動録音の設定] ボタンをクリックすることで、再生信号のレベルに応じて、自動的に録音開始 / 停止が可能になります。



10. [参照] ボタンをクリックして、作業ファイルの保存場所を設定したら、[録音] ボタンをクリックすることで、録音が始まります。

注意: [録音ウィザード] ではステップ途中でファイルの分割やクリーンアップを行い、最後の段階でファイルフォーマットを指定する都合上、作業ファイルを使用します。このため、最終的に保存するファイルと、作業ファイルの保存場所を同一ドライブにする際は、保存ドライブに作業領域と最終保存ファイルのための十分な空きディスクスペースが必要となります。最終ファ イルの保存場所は空きディスクスペースに注意して指定してください。

ステップ3:トラックの録音 ~ ステップ4:トラック分割/クリーンアップの指定

ステップ 3/7:トラックの録	音			
	<mark>ቆ</mark> スマート レコーダー			? – – ×
	《] () () () () () () () () () () () () ()	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●	(上) スクジュール録音	ক্তি বর্ণ ৮২-রূপস্য
	ステップ。3 / 7: トラック			
	手動で録音を停止するには	こう いっか 目 ビリヨレ ことう つくっか 目 と 停止」ホタンをクリックして下さい。	H∰W JCIATOX A °	
		経過時間: 00:0 :	3:39	
		残り時間: 03:00	5:18	
		(く戻る)(停止 ++>>teル
				CREATIVE

11.録音するソースの再生を開始します。

12. [経過時間]に現在の録音時間が表示されます。また [残り時間] には指定された録音時間までの残り時間が表示されます。 13.録音したい分の再生が終わったら、画面下部の [停止] ボタンをクリックします。

ステップ 4/7:トラック分割 / クリーンアップの指定

このステップでは、自動的にファイル内の無音部分を検出してトラックを分割するトラック分割と、録音したデータのノイズを取るクリーンアップを行うかどうかを指定します。

録音した音楽データはどのように保存される?

Rmart Recorder で1回録音すると、録音したファイルは1つのファイルとして保存されます。カセットテープ 1本やレコード1枚を録音した場合は1枚分の音楽が1つのファイルになります。このため、カセットテープやレコー ドに収録されている1曲ごとに1つのファイルを作成するには、曲と曲の間を探し、1曲ずつ分割しなければなりま せん。Smart Recorder の自動トラック分割機能を使うことで、自動的に曲間の無音部分を検知してデータを分割し、 1曲ずつファイルを作成することができます。

	<mark>₩</mark> スマート レコーダー			×	
	一一 逐次錄音	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●		👘 र्रा ४३-२४७७	
	ステップ。4 / 7: トラッパ トラック間の無音部分でトラックを トラックを分割するには【無音を オフジョンを有効にします。	ク分割/クリーンアッフ [°] の打 区切ったり、バスを取り除くことが 判定して分割するコクションを有効	旨定 出来ます。 こします。また、ノイスを取り除くに	は[にスノイス"とグリック音を除去する]	
自動分割の指定 クリーンアップの指定 		自動分割・ 🖌 無音を判定して分 ツーンアッフ [、] 🖌 ヒスノイズとかりゥウ音を	割する [除去する	設定	トラック分割の 設定
			(〈戻る) ()	次へ> 4+2/2/	
				CREATIVE A	

14. [トラック分割の設定] ボタンをクリックすることで下図の画面が表示されます。



15.トラック分割の際に無音と見なすデシベル値を[スライダー]で設定し、[無音判定時間]に無音とみなす秒数を指定したら、 [OK] ボタンをクリックしてこの設定画面を閉じます。

16.それぞれ実行したい機能にチェックを入れたら[次へ] ボタンをクリックします。

ステップ 5/7:トラックの自動分割

ステップ4でトラックの自動分割を指定していない場合、このステップは通過します。

ここでは、ステップ4で指定した設定に従って録音したファイルが各トラックに分割されます。トラック内で無音部分が検出 できなかった場合は、単一のトラックとしてリストに表示されます。上部のリストからトラックを選択して[**再生**]ボタンをクリッ クすることで、それぞれのトラックを確認することができます。



- 17.トラック分割が適切に為されていない場合、 [戻る] ボタンをクリックしてステップ 4 に戻り、再度トラック分割の設定を調節します。
- 18.トラックの分割および結合を手動で行うこともできます。本来1つのトラックが複数に分割されてしまっている場合には、 リスト上で連続したトラックを選択し、[結合] ボタンをクリックします。複数のトラックを選択するには、コンピュータキー ボードの Shift キーを押しながら各トラックをクリックします。
- 19.複数のトラックが1つのトラックになってしまっている場合には、[プログレススライダー]を分割したい位置に移動して[分割] ボタンをクリックします。また画面右下の[サイレンスカットオフスライダー] でトラック内の無音とみなす音量を再設定することができます。
- 20.リスト内のトラックの「ファイル名」をダブルクリックすることで、各曲のタイトルを入力することができます。
- 21.また、各トラックを右クリックし、表示される"トラックプロパティの編集"を選択することで、
 各トラックの情報を変更することができます。これらの項目を入力しておくことで、MP3 ファイル形式で保存した場合に、デジタルオーディオプレーヤーなどでトラック情報が表示されるようになります(トラックのプロパティ編集画面の内容については次ページを参照してください)。
 22.それぞれのトラックの分割が適切に完了できたら、「次へ」ボタンをクリックします。

ラック フ*ロバ*ティの編集		*
マイ レコーディングの	トラックがアップデートされます	•
7ヶ(ル名:	1592.01	
3/HA:	I	
7- 7 471:		
71M-14:		
5/65/1-:		•
		OK(O) \$#>/EM(C)

ステップ 6: トラックのクリーンアップ

トラックプロパティの編集画面では、以下の項目を設定可能です:

- アーティスト…… [マイレコーディング]パネル上で表示されるアーティスト名になります。
- アルバム [マイレコーディング]パネル上で表示されるアルバム名になります。

ステップ 6/7: トラックのクリーンアップ

ステップ4でトラックのクリーンアップを指定していない場合、このステップは通過します。

ここでは、録音したファイルに含まれるのヒスノイズ(カセットテープに含まれる " サー " や " シャー " という高周波ノイズ) や クリック音 (レコード盤のチリなどによる " ブツブツ " 音) を除去することができます。上部のリストからトラックを選択して [**再 生**] ボタンをクリックすることで、それぞれのトラックを確認することができます。



23.ファイルにヒスノイズやクリック音が含まれてしまっている場合、[ヒスノイズとクリック音を除去する] チェックボックスをク リックしてチェックを入れます。

24. [クリックレベルスライダー]を動かしてクリック音の除去度合いを調節します。

25. [ヒスノイズレベルスライダー]を"30%"前後の位置に、[オリジナルヒスノイズスライダー]を左端に調節します。

26. [再生] ボタンをクリックしてトラックを再生しながら、ヒスノイズが最小になるレベルまで[オリジナルヒスノイズスライ ダー]をゆっくりと右に動かします。

27.必要に応じて、さらにヒスノイズが低減されるレベルにまで[ヒスノイズレベルスライダー]を少しずつ右に動かします。 28.トラックのヒスノイズやクリック音が除去できたら[次へ]ボタンをクリックします。

ステップ 7/7:トラックの保存

ここでは録音し、分割 / クリーンアップしたトラックの最終的な保存フォーマットを指定します。

	-*+ レコーダー			? ×	
	《 REC 逐次錄音	● 録音ウィザート	() スクジュール録音		
	ステッフ [°] 7 / 7: トラック 録音したトラックの保存フォーマット	クの保存 ^{を指定します。}			
保存フォーマット ——	-	フォーマット: Wave ステレオ	<mark>● MP3形式の</mark>	這業希望情報股	
サンプリング周波数 —— サンプリングビット ——	(周) (サンフ (空)	枝数 (kHz): 44.100 リンゲ ビット: 16 【保存場所: C:¥Users¥Macbook¥Mu Z吉スペース: 128.58 GB	s¥Smart Recorder¥ ∵Tunes	照 ライン・ラリーに2直力D	ファイルの保存場所
			(〈戻る)())	KA> (44)UU CREATIVE (

29.オリジナルの音楽 CD を作成する際に変換などの余計な手間が掛からない CD クオリティの音楽ファイルを保存する場合、 フォーマットに "Wave、ステレオ "、サンプリング周波数に "44.100"、サンプリングビットは "16" に設定します。 またデジタルオーディオプレーヤーなどで手軽に聞く場合には、"MP3" フォーマットを選択します。

音楽ファイルのクオリティについて

サンプリング周波数を大きくする程、音の解像度がより細かくなり特に高音域まで正確に録音できます。またサンプ リングビットを大きくする程、より大きなダイナミックレンジの対応でき、元々の信号に忠実となります。しかしながら、 どちらも値を大きくすることで、保存されるファイルサイズも大きくなり、より多くのハードディスク容量を必要としま す。サンプリング周波数 44.1kHz、サンプリングビット 16 ビットの Wave フォーマットは一般の音楽 CD と同じクオリ ティとなり、ステレオ音声で 1 分約 10MB のサイズになります。

MP3 ファイルって?

MP3 ファイルは人間が聞き取りにくい、または感じ取りにくい部分のデータを " 間引く " ことで、ファイルサイズを圧縮して小さくすることができるファイルフォーマットです。一旦圧縮したファイルは、再度元のクオリティに戻すことはできないことから、この圧縮は非可逆圧縮と呼ばれています。

30. [参照] ボタンをクリックして録音したファイルの保存場所を指定して、[次へ] ボタンをクリックします。

メモ

Apple iTunes[®] がインストールされている場合、[iTunes ライブラリに追加] チェックボックスにチェックを入れることで、保存した音楽ファイルが自動的に iTunes ライブラリに登録されます (Wave および MP3 フォーマットのみ)。

30.分割された各トラックが保存されます。全てのトラックが保存されたら[完了]ボタンをクリックすることで、[録音ウィザード]は完了です。画面には[マイレコーディング]パネルが表示されます。なお、録音した音楽ファイルの保存場所は、 [マイレコーディング]パネル上の「パス名」欄で確認できます。

例: C: ¥Users ¥<ユーザー名>¥マイレコーディングの場合、[スタート]> [ミュージック]または[マイミュージック]> [マイレコーディング]フォルダになります。

以上で Smart Recorder を使用した録音手順は終了です。このほか、Smart Recorder には一画面上で録音などを行える [逐次録音]機能や、タイマーを利用した[スケジュール録音]機能も搭載されています。録音作業に慣れたら、これらの機能 も是非お試しください。また Smart Recorder 画面右上の[ヘルプ]メニューには、様々な機能の詳しい解説や手順が記載さ れていますので、一読されることをお勧めします。